

熊本県立荒尾支援学校進路便り NO. 61

わーく&らいふ

令和3年3月23日 進路指導部 発行

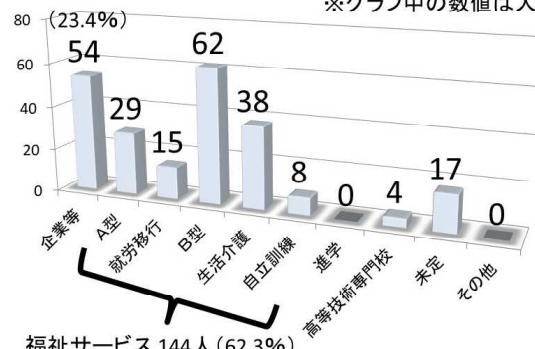
■CONTENTS■

【トピック】令和2年度の進路状況・高等部一般学級キャリア意識調査

令和2年度特別支援学校卒業生の進路予定

(ひのくに・松橋支援専門学科以外の知的障がい教育校231名)

※グラフ中の数値は人数



熊本県特別支援学校進路指導主事連絡会調べ

特別支援学校（知的障がい教育校）普通科卒業生の進路決定状況（2月末時点）は左グラフのようになっています。

進路の類型としては、卒業生の62.3%が福祉サービスの利用、23.4%が企業等への就職、その他7.3%が「未定」高等技術専門校進学が1.7%となっています。

福祉サービスの利用

は多い順に「就労継続支援B型」「生活介護」「就労継続支援A型」となっており、中でも「就労継続支援B型（26.8%）」は最も多くの卒業生の進路先でした。お子様の進路を考える上で参考にしてください。

本校の卒業生の進路先は以下のとおりです。

- 【荒尾市】ワンピース（就労移行支援）2、SUN☆フラワー（生活介護）1
BLOOM（就労継続支援A型）1、
- 【玉名市】きらきら（生活介護）1、ほし（就労継続支援B）1
若葉作業所（生活介護）2、たまきな荘（生活介護）2
- 【長洲町】ひまわりの里（生活介護）2、くじらのせなか（生活介護）1
- 【南関町】うすま苑（施設入所支援）4名【玉東町】るぴなす（生活介護）1
- 【福岡県】障害者就労・自立支援センターたんぽぽ（就労継続支援B型）1名、
やまさん（生活介護）1名

■高等部一般学級キャリア意識調査

高等部一般学級では、生徒たちにとって「大人になっていく自分」「社会人になっていく自分」を常に意識し行動に移してほしいという願いを込め、「キャリアアップチャレンジ5」を掲げて指導に取り組んでいます。

年度末に当たり、キャリアアップ・チャレンジ5実践を通した生徒と保護者の皆様の意識調査を実施しましたので概要を紹介します。

①保護者アンケートより ～保護者の認知度が低下～



キャリアアップ・チャレンジ5を「知らない」と答えた方は6ポイント増加し、認知度が低下した結果です。

本年度はコロナ禍により、現場実習や実習報告会などの進路行事が中止となり、保護者の皆様の耳目に触れる機会が減ったのが原因だと考えられます。

②保護者アンケートより ～57%が、学年はじめよりも良くなったと評価～

項目	良くなった
1 気持ちいいあいさつ返事	65%
2 きちんとした身なり	60%
3 ていねいな言葉遣い	50%
4 時間・約束を守ろう	57%
5 そうじ・かたづけ	53%

保護者の皆様が、一年間で伸びたと評価しておられるのは、「あいさつ返事」「身だしなみ」でした。集団行動を通して、他者の目線に立つこと、相手に気持ちよく受け入れてもらえることの素地が育ちつつあります。

③生徒アンケートより ～自信があるのは？～

項目	できる
1 気持ちいいあいさつ返事	80%
2 きちんとした身なり	92%
3 ていねいな言葉遣い	68%
4 時間・約束を守ろう	72%
5 そうじ・かたづけ	72%

生徒の自己評価によると、自信があるのは「身だしなみ」「あいさつ返事」の順に高く、逆に自信がないのは、「ていねいな言葉遣い」という結果です。敬語でなくとも、好感のもてる話し方を学んでほしいものです。

④生徒アンケートより ～76%が学年はじめよりも良くなったと評価～

とてもよくなった	24%
よくなった	52%
かわらない	24%

自分のことを肯定的に捉えることは、案外難しいことです。ですからこの結果は素直に嬉しいことです！ご家庭でも話題にしてください。

編集後記 いつも進路便り「わーく&らいふ」をお読みくださりありがとうございます。次年度も保護者の皆様の「知りたいこと」に答えられるよう、紙面作りに努めて参ります。ご意見ご要望をお待ちしております。（担当：高等部 谷口）